

第3回ワークショップ結果概要

東秋川橋西側区域

日 時：平成30年12月15日（土） 19時～21時

会 場：野辺地区会館

参 加 者：9人

■会の流れ：

1. 開会
2. ワークショップの実施にあたって
3. 第2回ワークショップまでのふりかえり
 - ・第1回ワークショップで出たご意見
 - ・第2回ワークショップで出たご意見

（参考）各区域における第2回までの検討結果概要
4. グループワーク
 - （1）この地区の交通サービスの方向性（素案）の確認
 - （2）それぞれの交通サービスには、どのようなメリットとデメリット（良い面と悪い面）がありますか？
5. ふりかえり、閉会

■資料説明

ワークショップの開催趣旨、ワークショップの実施方法等、第1回ワークショップにおいて詳説した事項を再度簡単に説明するとともに、第2回ワークショップまでにおける話し合いの結果を振り返った。

■グループワークの結果1：この地区の交通サービスの方向性（素案）の確認

第2回ワークショップまでの議論を踏まえて事務局が設定した「この地区の交通サービスの方向性（素案）」に関して、参加者の考えとのずれがないかどうかを確認いただいたところ、主な利用者の想定、導入を検討したい交通サービスについてそれぞれ修正意見をいただいた。

■グループワークの結果2：それぞれの交通サービスには、どのようなメリットとデメリット（良い面と悪い面）がありますか？

「グループワーク1」の結果も踏まえ、それぞれの交通サービスに関するサービス内容や、メリット、デメリットを参加者の方々に挙げていただいた。

その後、テーブルごとに発表の時間を設けることで、参加者の状況や意見を共有するとともに、全体のまとめを行い、本日のグループワーク結果を参加者にご確認いただいた。

【グループワーク1】この地区の交通サービスの方向性（素案）の確認

①この地区のサービスの目的

【素案】

狭い道幅に配慮して、病院や買物などに行く交通を確保する。

【いただいたご意見】

- ・特になし。

②主な利用者の想定

【素案】

- ・自分で車を運転できない方※
- ・（将来）免許返納をした方
- （・車いすを利用している方）—

※なお、この「自分で車を運転できない方」には、運転免許を持っていないなど継続的に車を運転できない方と、病気やケガなど、若い人でも一時的に車を運転できなくなかった方を含むととらえている。

【いただいたご意見】

- ・「自分で運転できない人」の中には、「乳幼児を連れている方」も含めて考えて欲しい。
- ・「自分で車を運転できない方」「（将来）免許返納をした方」という書き方は、漠然としすぎている。「自分で自家用車を運転できない方」など、表現を工夫すべき。
- ・「車いすを利用している方」を想定すると、小型車の運行は難しいのではないかと。
→前回ワークショップでのご意見を踏まえて、車いすの方については（ ）書きで入れましたが、
このご意見及び③でのご意見も参考に、素案からは削除させていただきます。

③導入を検討したい交通サービス

【素案】

分類	サービス内容	備考
1) 地蔵堂を拠点とした複合的な地域コミュニティサービス	・地蔵堂を拠点とし、ボランティア等による運転（相乗り）をする。 ・移動販売車を呼ぶ、お茶飲み・将棋・困ったことの助け合いの場の提供など、複合的な地域コミュニティサービスを展開する。	・対応できる運転ボランティアの登録。 ・有償／無償は別途検討。
2) タクシー代の補助	・タクシー代を補助する。 ・緊急時にも利用可能なものとする。	・利用券の配布。
3) 定路線型の交通	・ワゴン車等の小型の車両で、決まった路線を運行する。	
4) バス停への駐輪場の設置	・バスを使いやすくするため、バス停の近くに駐輪場を設置する。	

【いただいたご意見】

- ・「3)定路線型の交通」には、ワゴン車等だけでなく、電動カートを追加する。
- ・「5)ドア to ドアの交通」を追加する。
- ・「ボランティア等による運転（相乗り）」では、車いすへの対応をどうするのか。

【グループワーク2】それぞれの交通サービスにはどのようなメリットとデメリット（良い面と悪い面）がありますか？

①サービス内容に関するご意見

分類	サービス内容の提案等
1) 地蔵堂を拠点とした複合的な地域コミュニティサービス	・ 日中は地域のボランティアが常駐して対応する。 ・ 地蔵堂での乗降だけでなく、送迎サービスを含めることで、ドア to ドアの交通も担う。 ・ 定期的にタクシーをつけてもらう。 -利用したい人同士で相乗り -帰りは個別にタクシー利用（補助してもらう）
2) タクシー代の補助	・ 他のサービスが整うことを前提として上限を決める必要がある。 ・ いくら補助してもらえるのかによって利便性が変わる。
3) 定路線型の交通	・ 電動カートの活用を考える。 ・ 4～5km 程度の走行距離とする。 ・ 地区内～睦橋通りのバス停～東秋留駅のような路線を想定する。 ・ 雨間のいなげややアルプスにも立ち寄る。 ・ 小型車でスタートし、需要を見て大型化も検討する。 ・ できれば病院もルートに含めたい。 ・ 電動カートよりは、ワゴン車等の方が良い。
4) バス停への駐輪場の設置	・ 拝島方面のバス路線と連絡するようにする。 ・ 小型車の定路線型があれば不要。 ・ 地蔵堂を駐輪場所として活用する。
5) ドア to ドアの交通	・ 地蔵堂のサービスまたはタクシー補助があれば不要。 ・ タクシー。 ・ 移動が困難だが、「移送サービス」は利用できない方が利用できるもの。

②交通サービス（候補）のメリット・デメリット

分類	サービス内容	メリット	デメリット
1) 地蔵堂を拠点とした複合的な地域コミュニティサービス	・地蔵堂を拠点とし、ボランティア等による運転（相乗り）をする。	・自家用車を使えば取り組みやすい。 ・空いている自家用車を提供してもらえれば、すぐにでも始められる。 ・自家用車を使えば、運転に慣れているし、自分の車なので運転にも気を遣う。 ・地蔵堂は自宅から近くて行きやすい。	・事故が起きた時の責任をどうするか。 ・自家用車を使用する場合、保険関係はどのようにするのか。 ・自家用車を使う時の経費精算はどのようにするのか。 ・費用負担の考え方を決める必要がある。 ・管理等の問題もあり、実際には難しいのではないかと。 ・主になる人（リーダー）がいないとけない。 ・定期的にタクシーをつけてもらっても、利用者がいない場合が考えられる。 ・経費が掛かる。
2) タクシー代の補助	・タクシー代を補助する。 ・緊急時にも利用可能なものとする。	・ドア to ドアの交通として普通に利用できる。 ・自分の行きたいところに行ける。	・上限その他を市に決めてもらう必要がある。 ・補助にも限度がある。 ・予算がつくのかどうか分からない。 ・この地区だけ補助するのか、他の地区も補助するのかを考える必要がある。 ・誰にどの程度補助するのかを考える必要がある。 ・年齢で基準を設定した場合、同年代でも移動が困難な方と元気な方がいる。
3) 定路線型の交通	・ワゴン車や電動カート等の小型の車両で、決まった路線を運行する。	・最も自由に使える。 ・できるだけ小さい車を使う様になれば、仮に空車だとしても経済的デメリットが小さい。 ・運行頻度を高くすればさらに使いやすくなる。 ・分かりやすい。	・運行本数が多いと使いにくい。 ・行き先が限られる。 ・行きたいところに行けるか分からない。 ・目的地に行くまでに遠回りが発生する可能性がある。 ・電動カートは冷暖房がない。
4) バス停への駐輪場の設置	・バスを使いやすくするため、バス停の近くに駐輪場を設置する。	・あれば便利。	・実際には実現は難しいのではないかと。 ・自転車からバスに乗り継ぐ人はあまりいないのではないかと。
5) ドア to ドアの交通		・利用したいときに利用できる。	・運賃が掛かる。

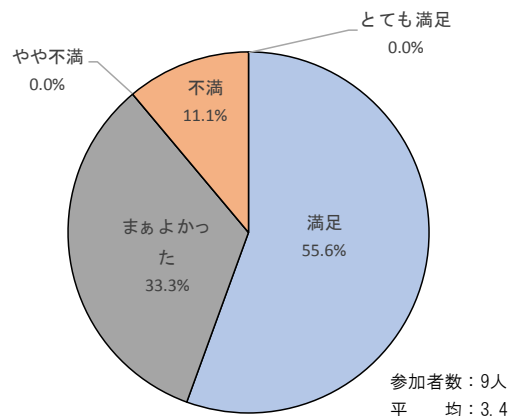
■第3回ワークショップの様子



■参加者の感想（アンケート結果）

今日のワークショップの全体的な満足度はいかがでしたか？

5. とても満足 4. 満足 3. まあよかった
2. やや不満 1. 不満



平均は、とても満足＝5点、満足＝4点、まあよかった＝3点、やや不満＝2点、不満＝1点として合計し、回答数で割ったもの

○今回、ご自身の中で、気づいたこと、発見したことは何ですか？

- ・ いずれもお金がかかること。
- ・ タクシー等補助金の問題。
- ・ 自己負担が発生する。年齢制限。
- ・ 切実な問題になって来ています。どうしたら一番いいかむずかしい。
- ・ 自分で運転して動いているため、具体性に欠けている。
- ・ 話を詰めていくとむずかしい。
- ・ チームワーク。

○ファシリテータ（進行役）やほかの参加者の発言で、特に印象に残っている発言があれば、ご記入ください。

- ・ 電動小型低速車の件。
- ・ 電動カート、盆堀の状況等、すみやかに情報提供いただきよかった。

○本日の企画・運営で、良かった点、感じた課題をお教えてください。

- ・ 今行っている定路線型の課題を教えてもらえるとありがたい。
- ・ だいぶ身近に感じられてきたように思う。
- ・ 限られた時間でまとまったと思います。
- ・ わかりやすい説明、十分に発言させてもらい良かった。